

1. 2年普通科教育類型で「赤ちゃん先生」を実施(6月23日)

「赤ちゃん先生」は、赤ちゃんに触れ合い、お母さんから赤ちゃんの一日の生活や生まれたときの話、子育てで気をつけていることなどを聞くことで、命の大切さや子育ての苦労を実感するとともに、将来の進路選択に生かすための行事です。

コロナ渦の中ということで実際に触れ合うことはできませんでしたが、オンラインで画面を通して赤ちゃんと対面し、お母さんから色々な話を聞くことができました。赤ちゃんが途中で寝てしまったり、お菓子をまき散らしたりするなどのハプニングもありましたが、生徒から「かわいい!」という声上がるなど大いに盛り上がりました。



(生徒の感想より)

○コロナウイルスの影響で実際に触れ合うことはできなくて少し残念だったけど、普段のお家の中の動きや、子育て、お母さんたちのとても貴重なお話を聞くことができ、良い経験ができました。

○自分が赤ちゃんの時もお母さんやたくさんの周りの人の助けがあって、今こうして生きていることを考えると感謝の気持ちでいっぱいになりました。また、パートナーとの協力、家事の分担も大切だと思うので、自分が大人になって子どもができたときには、自分から積極的に協力していきたいと思いました。

○子育ては一人で抱え込まずにパートナーや周りの人とお互い協力し合うことが必要だと思いました。私も将来子育てをすることになったら一人で抱え込まずにシェアしていきたいなと思いました。

○今回も可愛くて楽しいだけが育児ではないと改めて思いました。「産後うつ」や「マタニティーブルー」といったお母さんの内面的な悩みを聞いて、私の母や身近にいる赤ちゃんを育てている人への接し方を改めようと思いました。

○コロナ渦での育児の大変さも知ることができました。外に出づらかったり、悩みをママ友同士で打ち明けることも難しかったりとたくさん大変なこともある中で、負けずにがんばっていらっしゃる姿を見てとても勇気をもらいました。

○私は将来、音楽か保育、教育のことについて学ぼうと思っています。そこで、小さい子や子育てが大変なお母さんやお父さんに、音楽を通して楽しい時間を提供したり、教育を学んで子育てしやすい社会や保育園・幼稚園の設置などに携われたらいいなと思いました。